

花乃井だより

学校
通信

令和4年9月27日(火)
第102号
大阪市立花乃井中学校



下半期生徒会執行役員の認証式!!

本日、下半期の生徒会執行役員（会長・副会長・執行役員）の認証式がありました。いよいよ下半期の始まりです。10月には各種委員会の学級委員も認証されます。皆さんで協力して、前例にとらわれることなく、花中の新たな歴史をまた作り上げてください。

学校長の話より

「前例にとらわれることなく…」というと、皆さんに将棋界の藤井聰太五冠のお話を紹介したいと思います。

藤井五冠の強さの一つに「序盤からの読みの深さ」が挙げられています。彼と対局し敗れた多くの棋士が対局後「どの手が悪かったのか分からない」と口にするそうです。序盤からの読みの違いが小さい差を生み、終盤には挽回できないほどの大差になっていて、結局負けてしまうということだそうです。このことは、AI（人工知能）が示す形勢判断のグラフが、中盤以降は藤井五冠の方へ徐々に優位を拡大する曲線を描くことが多いことからもわかります。そのことからこの曲線のことを「藤井曲線」と呼んでいるそうです。

将棋には「定跡」というものがあります。昔からの研究で最善とされる手のことです。ところが、藤井五冠は定跡から外れた手を指し、それが優勢の因になることが多いです。思考を固定化せず、それまでの前例を見直す姿勢が、読みの深さにつながっているのでしょうか。

「前例にとらわれることなく何が最善かを考える。」将棋の世界の話は人生や社会にも応用できます。コロナ禍により、それまでの“当たり前”がそうではなくなった昨今。物事の前提を疑い、柔軟に考え、行動を変える必要性を、誰もが実感しています。学校生活においても、一人ひとりができることに全力で挑戦していきましょう。

明日は文化祭

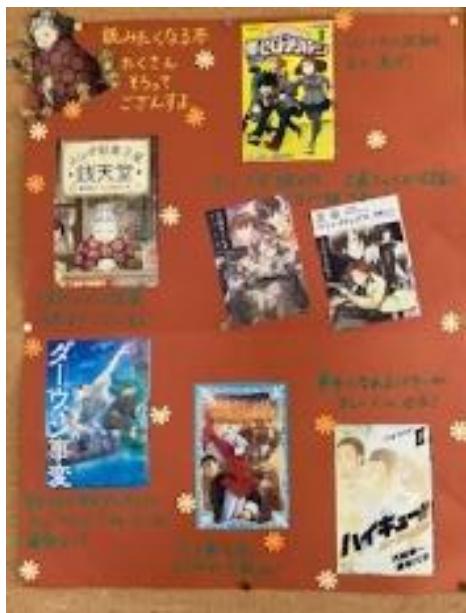
明日からの2日間は文化祭。今年も感染症対策の制限はありますが、これまでと比べたらゆるくなっています。本日も遅くまで準備をしてきました。明日はこれまでの練習の成果、活動の成果を存分に発揮してください。また、各学年・各部活・各教科と展示もそれに力作がそろいました。中には修学旅行での体験学習の砥部焼も展示されています。



更衣調整期間

朝晩がめっきり涼しく（肌寒いくらい）なりました。かといって日中はまだまだ暑かったりします。冷房もON・OFFが繰り返されるこの時期。着るものに工夫が必要です。体調を崩さないように上手に更衣調整期間を利用してください。ただし、身だしなみに気をつけて、名札など忘れ物がないように注意しましょう。

おすすめの本を紹介



涼しくなったといえば“読書の秋”の到来です。秋の夜長に本に親しむことはよいことです。各学年で図書委員の皆さんのが推薦図書を掲示してくれました。どれもなかなか興味深いものばかりです。

【校長のおすすめ】

小説「星の王子さま」。著者は世界的に有名なフランスの作家、アントワーヌ・サン=テグジュペリ。1943年4月6日に出版されました。サハラ砂漠に不時着した飛行機のパイロットが、砂漠で一人の男の子（星の王子さま）に出会います。その王子さまが、自分の生まれた星のことや、色々な星を旅したときの話をするというもの。「大切なものは目に見えない」ことや「誰かを愛することの尊さ」、「子どもの頃の気持ちを忘れないで」など、王子の話を通して様々なことを教えてくれます。

